

## TDMによる行動変化の見込み手順（案）

### 1. 暫定目標値の設定と手法（圏央道内側に足のあるトリップを対象）

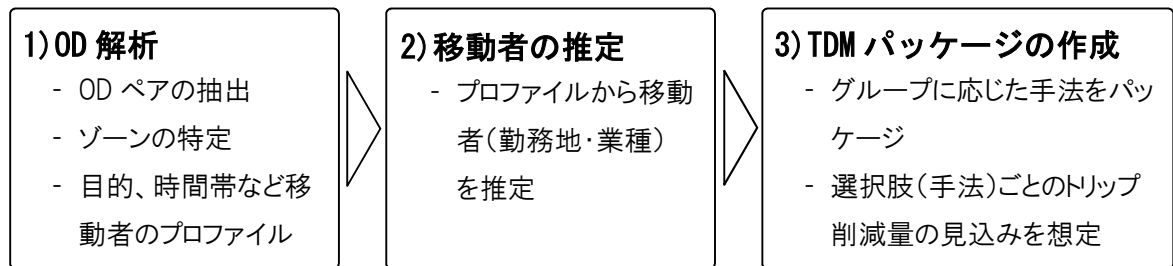
・道路や鉄道等インフラネットワークを最大限活用し、大会期間中の交通の最適化を図る

暫定目標(例):大会期間中、平年の休日並みの交通量に抑えること

《削減方法》		(施策の例)
○とりやめ	トリップをゼロにする	→ 夏季休暇取得促進
○へらす	トリップ回数を減らす	→ テレワーク
○ずらす	トリップが発生する時間を変える	→ 時差出勤
○迂回	トリップ経路を変える	→ 経路変更のインセンティブ
○手段変更	モードを変える	→ 1駅歩く
○目的地変更	目的地を変える	→ イベント会場の変更
○まとめる	トリップをまとめる	→ パーク&ライド

その他、夏季イベント等の抑制

### 2. 一般交通（道路・鉄道）の混雑区間の特定（ホットスポット）

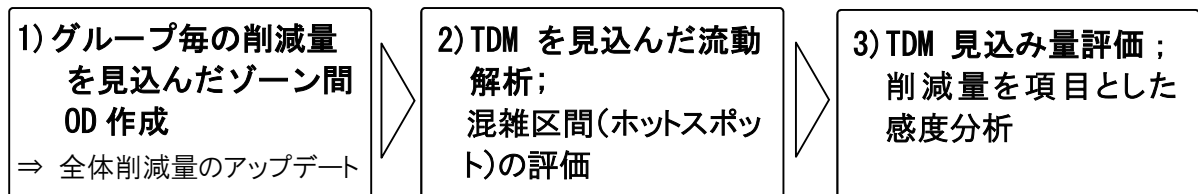


※移動者グループの規模や業態などから実現可能性を想定

例)「Aゾーン→Bゾーン」への通勤(車)が多い

⇒ Bゾーンの業態を抽出、同様の企業体の規模を想定

### 3. 暫定目標値の精査



トライアンドエラー

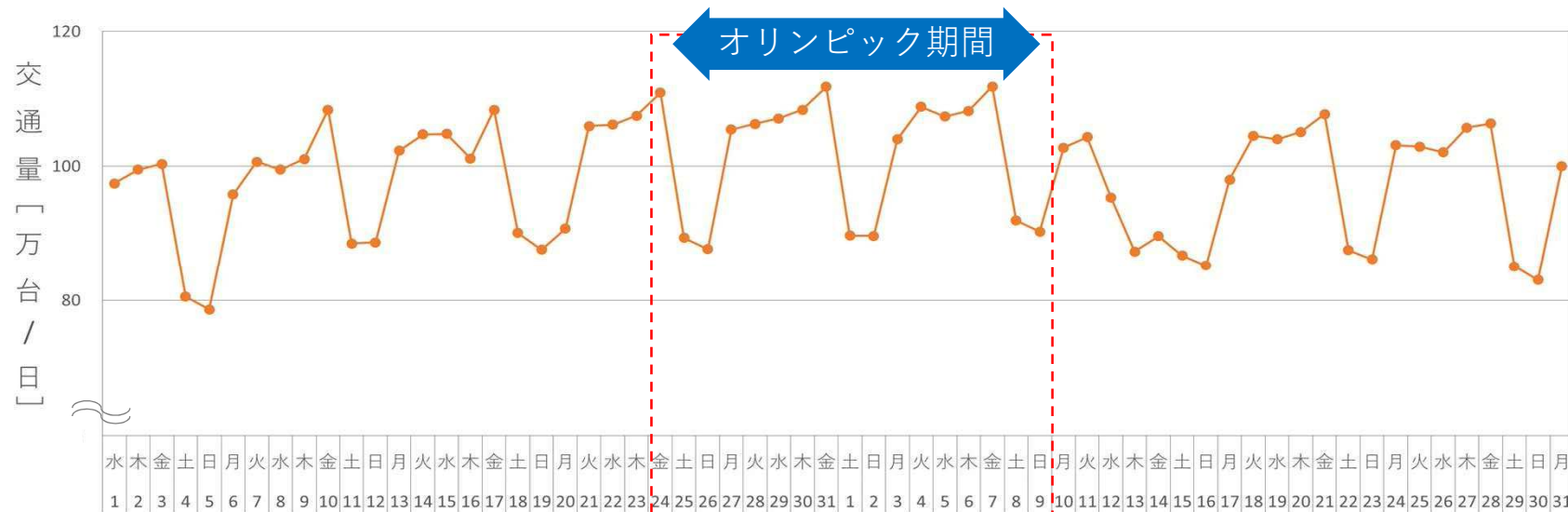
日程毎のチェック(日、ピーク時で確認)

※シミュレーション結果と実際の交通の状況を見ながら精査

### 4. 企業団体・関係者との意見交換（シミュレーションとの両輪）

# 曜日別交通量（首都高速）

休日（85万台程度）は平日（105万台程度）から約2割減少



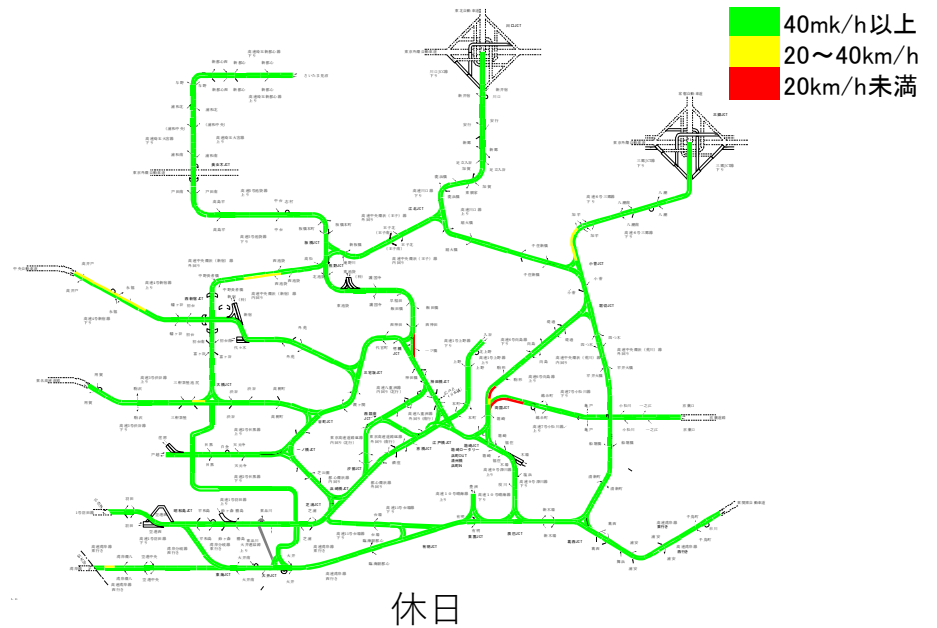
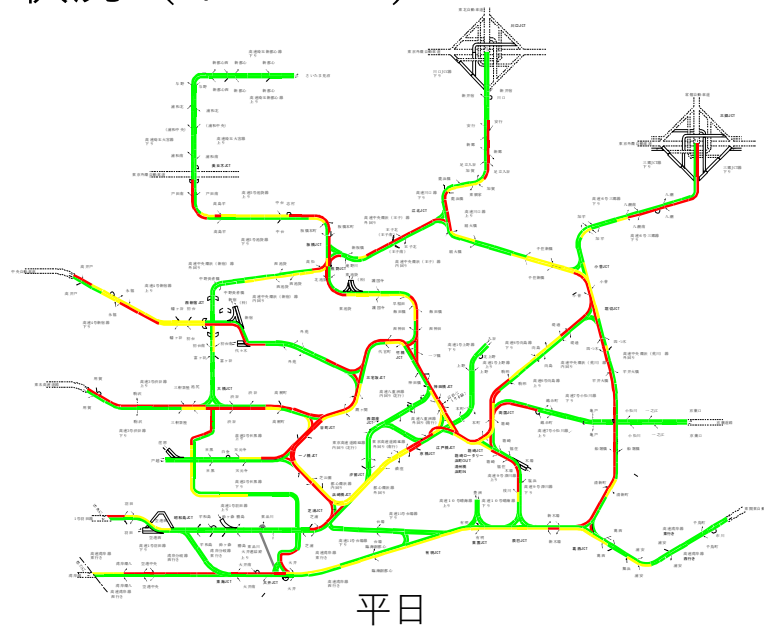
平成27年7月

8月

出典：首都高速道路（株）資料

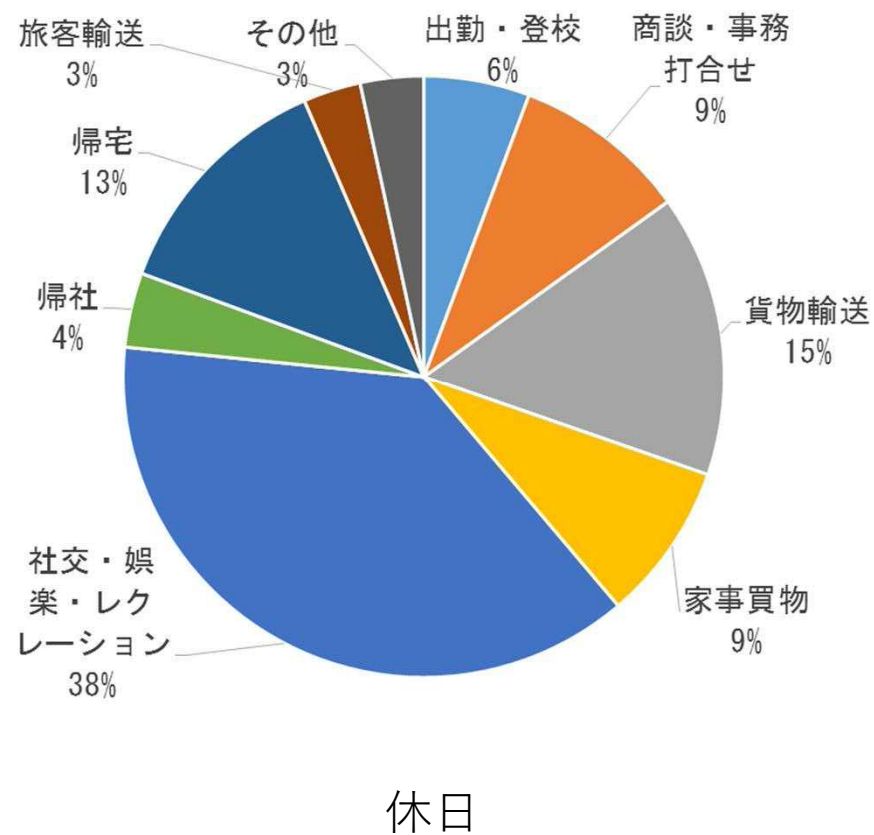
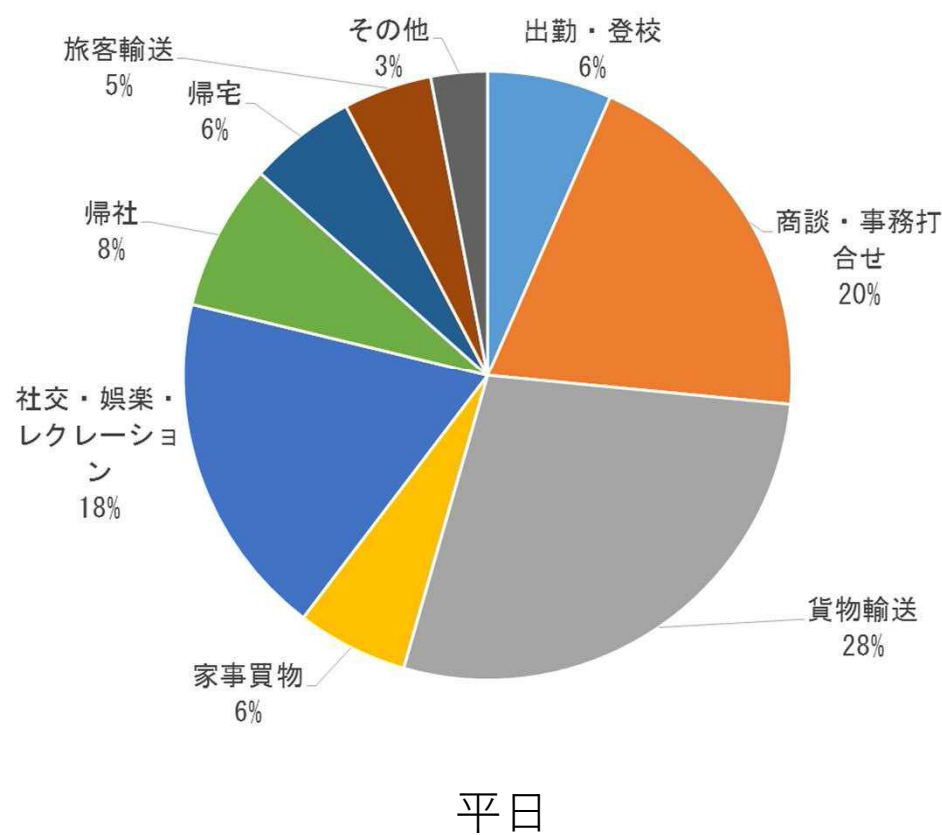
# 渋滞状況（イメージ）

休日は渋滞が少ない



40km/h以上  
20~40km/h  
20km/h未満

# 交通目的別交通量の構成割合



出典：第29回首都高速道路交通起終点調査報告書（H27.10～11）より作成